



「修学旅行を終えて」 (6年) 11月5日(火)～6日(水)

11月5日(火)～6日(水)、6年生が「京都・奈良」方面に1泊2日の修学旅行に行ってきました。子どもたちは、この2日間の修学旅行の貴重な思い出を生涯忘れることはないと思います。そんな意味では、18名全員が2日間を元気に過ごし、充実した旅行ができたことはこの上なくうれしいことです。担任の長谷川・土井両先生の計画・準備などの苦勞もありましたが、保護者の方々の温かいご理解とご支援のお陰であると感謝いたします。



① 京都・奈良を見学し、その歴史に触れる。

京都・奈良には、日本の伝統文化や芸術を代表する貴重な文化財が数多く現存しています。京都・奈良の歴史と合わせて、世界遺産や国宝、重要文化財に指定されている仏像や建築物、庭園など、その歴史を直に学ぶことができました。「大仏と緑と鹿」で代表される広大な奈良公園、300年ぶりに復元された興福寺中金堂、大きさに圧倒された東大寺の大仏殿、夜間ライトアップされた八坂神社の美しさ、古くから「清水の舞台から飛び降りる」という言葉でも知られる清水寺の舞台、1001体の等身大千手観音立像、風神・雷神像などが並ぶ“仏像の森”三十三間堂、静かに歩くほどに音がする鶯張りの二条城の廊下、夕陽に金箔がまぶしく輝く金閣寺…など、数多くの驚きと感動を味わうことができました。



② 集団行動・健康・安全・道徳等についての望ましいマナーを身につける。

修学旅行は、日本の歴史に触れ、思い出を作る機会ですが、いずれ社会人として立派な大人になるための社会勉強も兼ねています。バスや電車の中では、「大声を出さない」、「お年寄りに席を譲る」、「自分の荷物の管理」、「降りる人が先で、乗る人は後」など、一般社会のルールやマナーを守りたいものです。そして、見学先の神社仏閣、また、宿泊先の旅館においても、周りの人に迷惑をかけないなど、同様のマナーが求められます。



③ 寝食を共にすることで、友だちの良さを認め合い、小学校生活の楽しい思い出を作る。

「山の学習」以来の宿泊を伴った校外行事、これまでの級友に加え、わずかな時間でしたが、常磐東小の児童と触れ合う機会もありました。この2日間の団体生活の中で、改めて友だちの良さを見つけられたのであれば、また一つ成長できたのではないのでしょうか。来年4月、常磐中学校に進学しても切磋琢磨しながら、充実した学校生活を送ってほしいと思います。

